

つちおと

9/14(水)

～ 今村復興大臣・橘復興副大臣が南三陸町・気仙沼市を視察 ～



仮設商店街を視察

9月14日、今村復興大臣と橘復興副大臣が南三陸町と気仙沼市を視察しました。

南三陸町においては、仮設の南三陸さんさん商店街を視察し、八幡川左岸地区から本設予定地などを視察しました。

気仙沼市においては、株式会社サンフレッシュ小泉農園を視察し、株式会社加和喜フーズにて水産加工場を視察、水産関係者との意見交換を行いました。

大臣は8月の就任後初めての南三陸町・気仙沼市視察であり、「ソフト部門の課題が残っている。大変勉強になった」と述べられました。支所としても、被災地の課題の解決に向け、引き続き取り組んで参ります。



トマト農園を視察



水産加工場を視察

8/10(水)

～ 国道398号戸倉・波伝谷復興道路 開通！ ～

8月10日、国道398号線のうち「戸倉復興道路」及び「波伝谷復興道路」が完成し、開通式がおこなわれました。

これらの道路が開通したことにより、戸倉地区、松崎地区、波伝谷地区の防災集団移転団地から南三陸町中心部への交通の利便性がぐっと向上することとなります。



テープカットでお祝い



多くの参加者が開通を祝った

～ 9月に完成・入居開始予定の災害公営住宅 ～

気仙沼市が整備を進めている災害公営住宅のうち、鹿折南住宅の一部、鮎立住宅、森前林住宅、大谷住宅が完成し9月から入居が始まります。

鹿折南住宅は、工区を3つに分け建設が行われています。7月末には、第1工区の6号棟から8号棟の110戸が完成し入居が開始されました。

9月下旬には、車椅子専用住宅や高齢者生活相談室が整備された、第2工区の1号棟から4号棟の150戸が完成し入居を開始する予定です。

市民福祉センターと併設する第3工区の5号棟24戸は、12月に完成し入居開始の予定です。

概要

集合住宅：5階建4棟 150戸
(車椅子専用住宅4戸含む) 高齢者生活相談室



市営鹿折南住宅

※写真左：1号棟北側



市営鮎立住宅

鮎立住宅は、唐桑半島の鮎立湾に隣接する高台に戸建住宅7戸が建設され、9月30日から入居が始まります。

概要

戸建住宅：55㎡1戸、65㎡4戸
80㎡2戸

森前林住宅は、JA南三陸農協階上支店の西側に建設された住宅で、戸建住宅12戸が建設され、9月30日から入居開始の予定です。

概要

戸建住宅：55㎡4戸、65㎡6戸
80㎡2戸



市営森前林住宅

大谷住宅は、本吉町大谷街区の北西の丘陵部に整備された住宅で、戸建住宅67戸、長屋住宅5戸の72戸の住宅が整備され、9月20日から入居を開始しています。

概要

戸建住宅：55㎡8戸、60㎡35戸、80㎡1戸
長屋住宅：2棟 (55㎡4戸、65㎡1戸)



市営大谷住宅

8/11[㊦]

～ 鹿折地区まちびらき！ ～

8月11日、市内最大の災害公営住宅「鹿折南住宅」の入居が始まり、一般住宅、商店などの再建が進む鹿折地区で「まちびらき」と、8月末で閉鎖される仮設商店街の「復幸マートさよならイベント」を兼ねた復興盆踊り大会が盛大に開催されました。

式典では、鹿折まちづくり協議会など地区内各団体で組織した実行委員会と菅原茂市長はじめ来賓の方々による鏡開きで、新たな鹿折の幕開けを祝福しました。

また、実行委員会が、災害公営住宅や防災集団移転団地の入居者代表の方々に花束を手渡して歓迎しました。アトラクションでは、地元郷土芸能や餅まき、盆踊りに大綱引きなどに多くの来場者が参加し「まちびらき」にふさわしい活気ある賑やかなイベントとなりました。



市長も参加して鏡開き

8/16[㊦]

～ 復興・創生インターン 開始！ ～

平成28年度復興・創生インターンを開始するにあたり、8月16日に気仙沼市内でインターンを行う学生と、岩手県内で行う学生合同によるオリエンテーションが、岩手県大船渡市において開催されました。

インターンシップは9月18日までの約1ヶ月間にわたって行われ、気仙沼市内の参加学生7名は、受入れ5企業・団体においてそれぞれのプロジェクトに取り組むことになります。

研修では、グループごとに各自が目標や具体的な行動計画について発表し、アドバイザーの助言に真剣に耳を傾けていました。



グループディスカッションが行われた

8/18[㊦]

～ 大型サンマ漁船一斉出漁&出船送り！ ～

大型さんま漁船の操業解禁を8月20日に控え、8月18日に「出船送り」が気仙沼魚市場南側棧橋で実施されました。

小雨の降る中、気仙沼を水揚げ地とする漁船が集まり、気仙沼漁協組合長や副市長、漁労長代表の挨拶、歌手の大城バナサさんへの「みなと気仙沼大使」委嘱状の交付、漁労長達への花束贈呈、祝いの餅まきといったセレモニーが行われました。

各船は、多くの乗組員家族や関係者が福来旗を振って見送る中、カラフルなテープを船側に引きながら、大城バナサさんの歌や、鮪立大漁唄込保存会による大漁唄い込みを背に受けて、続々と出漁していきました。

なお、初水揚げは8月24日で、キロ1100円と高めのご祝儀相場となりました。



祝いの餅まきに多くの人が集まった



初水揚げのサンマ

